

ジック防錆Liペースト

NEXCO 構造物施工要領書『鉄筋防錆材の性能照査項目』規格適合品

ジック防錆Liペーストはセメントパウダーに亜硝酸リチウム及びSBR樹脂を配合した鉄筋防錆材です。中性化や塩害によって腐食した鉄筋に、亜硝酸イオンおよびセメントパウダーの高アルカリ性により、不動態被膜を形成し、鉄筋腐食原因となる腐食因子を遮断し、高い防錆性を発揮。同時にSBR樹脂により物理的に被膜を形成し、劣化因子を抑制します。長期に渡り優れた防錆性を発揮する亜硝酸リチウム配合ポリマーセメント系防錆材です。

特 長

◆ 優れた防錆機能

鉄筋表面に強固な不動態被膜を形成し、鉄筋周辺の腐食環境も改善いたします

◆ 耐久性

鉄筋表面に緻密で強固な塗膜を形成し腐食因子の侵入を遮断します。

◆ 付着性

SBR樹脂とセメントパウダーにより、鉄筋やセメント材料に対し、優れた付着性を発揮します。

◆ 利便性

パウダーと混和液の二材のため取扱いが容易で、安定した品質が得られます。
あらゆる現場に対応できるよう、経済的な4kgセットにて梱包しております。

材料使用量

○ジック防錆Liペースト 標準使用量

荷 姿	4kg/箱 (パウダー3kg、混和液1kg)
塗布量	2kg/m ² (1.0mm厚)
施工面積	2m ² /4kgセット
施行方法	刷毛・ローラー・リシガン
可使時間	夏季:約30分 冬季:約60分

○鉄筋の使用量目安 (ロス20%含む: 2.4kg/m²)

鉄筋規格		使用量
鉄筋呼び名	1m当たりの表面積(m ²)	1m当たりの使用量(kg)
D5	0.02	0.048
D10	0.03	0.072
D13	0.04	0.096
D16	0.05	0.12
D19	0.06	0.144
D22	0.07	0.168
D25	0.08	0.192

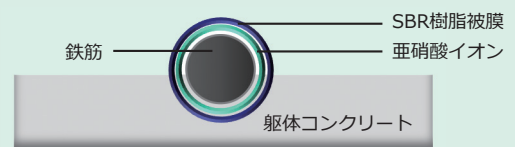
荷 姿



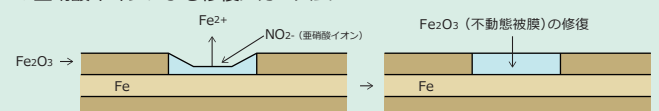
ジック防錆Liペースト
パウダー 3 kg/袋 混和液 1 kg/缶

ジック防錆Liペースト 防錆メカニズム

鉄筋表面に亜硝酸イオン及び、セメントの高アルカリにより、不動態被膜を再生、さらにSBR樹脂での物理的な樹脂コーティングにより、2重での防錆効果を発揮します。



▼亜硝酸イオンによる修復メカニズム



物性値・性状

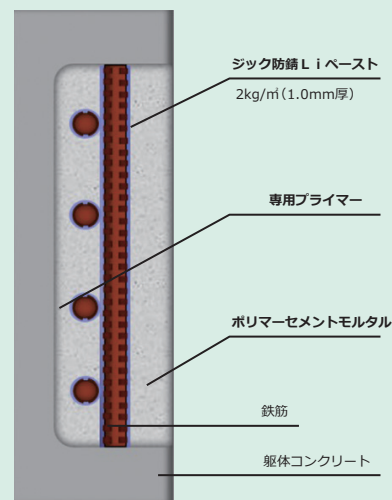
○一般物性

項目	結果		試験方法
圧縮強度 (N/mm ²)	28日	30.3N/mm ²	JIS A 1171
曲げ強度 (N/mm ²)	28日	9.5N/mm ²	JIS A 1171
接着強度 (N/mm ²)	28日	2.3N/mm ²	建研式接着力試験器による

○NEXCO 構造物施工管理要領『鉄筋防錆材の性能照査項目』

要求性能	試験項目		結果	規格
防錆性能	防錆試験	処理部	100%	防錆率50%以上
		未処理部	-2%	防錆率-10%以上
鉄筋との 付着性	鉄筋に対する付着強さ		合格	7.8N/mm ² 以上
コンクリートの 付着性	耐アルカリ性		塗膜に異常を認めない	塗膜に異常がみとめられないこと

標準施工図



使用 方 法

①素地調整

浮き錆・層状の錆をワイヤーブラシ・ディスクサンダー、高圧水洗浄にて十分洗浄を行って下さい。

②ジック防錆Liペーストの練混ぜ

亜硝酸リチウム混和液を混練用容器に投入し、ハンドミキサー等を回しながら徐々にセメントパウダーを投入し、均一になるよう3分間丁寧に練混ぜて下さい。

③ジック防錆Liペースト塗り付け

鉄筋が乾燥していることを確認し、1mm厚を目安に塗布して下さい。

④各種モルタル吹き付け・塗付け施工

ジック防錆Liペースト施工後、指触硬化を確認してから各種モルタルの施工を行って下さい。

使用上の注意

1. 粉体の取り扱いはセメントに準じて行って下さい。
2. 破袋製品や開封後放置した製品を使用しないで下さい。
3. 練り混ぜ水には水道水を使用して下さい。
4. 他材料を添加しないで下さい。

※取り扱いに関する詳細な注意事項は、安全データシート(SDS)をご参照ください。

●本資料の技術データについて

- ・本資料の技術データは当社の試験・研究に基づいたもので、施工条件などにより異なる結果が生じることがあります。
- ・本資料の記載事項は予告なしに変更する場合がございますので、ご了承下さい。
- ・材料、施工でのご不明点がございましたら、当社営業担当へご相談下さい。

【総販売元】



<http://www.jikkou.co.jp/>

■本社 / 〒651-2116 神戸市西区南別府1丁目14番6
TEL : 078-974-1141 FAX : 078-974-7786

■東京支店 / TEL : 03-6803-2287 FAX : 03-6803-2297 ■東北営業所 / TEL : 022-796-5312 FAX : 022-796-5313
 ■中部営業所 / TEL : 052-433-1350 FAX : 052-433-1351 ■大阪営業所 / TEL : 06-6486-9797 FAX : 06-6486-9798
 ■中国営業所 / TEL : 082-831-7505 FAX : 082-831-7506 ■四国営業所 / TEL : 089-905-3833 FAX : 089-905-3834
 ■九州営業所 / TEL : 092-512-2248 FAX : 092-541-6331 ■技術研究所 / TEL : 078-920-1115 FAX : 078-920-1116

【代理店】

R3.10

※ここに記載された事項は、標準的な試験方法に準拠した弊社の実験データにもとづくものではありませんが、多岐にわたる条件下での実績の現場結果を確実に保証するものではありません。
※万が一、本資料に提示する以外の方法や分野で本製品をご使用いただく場合には、ご使用者側にて調査検討くださいますようお願い致します。